

別紙 評価基準

評価項目		評価基準	配点	得点
① 技術点 <満点90点>				
実施体制評価 (60点)	仕様の実現	業務委託仕様書の内容(目的、仕様要件等、留意事項等)を全て達成できるか。 達成できていない場合は代替案等を示しているか。	20	
		提案の特徴、当該特徴が本県にもたらす効果(他事業者との比較優位性)について具体的に記載されているか。		
		各画面(職員データベース、人事評価、アンケート等。以下同じ。)のレイアウト及び操作方法について、ユーザビリティ(視認性、操作性等)が確保されているか。		
	組織体制、実施能力	システム構築時(本格稼働前)のフォロー体制(人員、対応方法等)が示されているか。	20	
		システム導入後のフォロー体制(人員、対応方法等)が示されているか。		
		使い勝手の良さや分かりやすさの工夫(操作方法のマニュアルの有無、専門用語は控える等)があるか。		
県からの問合せや障害対応等に対応可能な体制が確保されているか。				
類似業務の経験	国又は自治体における類似業務の受託実績がどの程度あるか。	20		
	システムの活用手法や活用事例を有しており、システム構築(導入)後も県への情報提供が可能か。			
企画提案内容評価 (30点)	セキュリティ要件	システムの動作環境及びセキュリティ要件について明記されているか。	10	
		障害発生時等の対応方法は整備されているか。		
	スケジュール・プロジェクト管理	無理のないスケジュールでシステム構築が可能か。	10	
		実施体制(各責任者の役割等)が示されているか。		
		プロジェクト(進捗、品質、課題、仕様変更等)の管理方法が示されているか。		
	追加提案	機能の追加提案があり、それが有効であるか。	10	
		自社システムの特徴的な機能(他システムとの差別化が図れる機能)について記載があるか。		
		今後の拡張性(今後対応を予定している機能、AIとの連携機能等)について記載があるか。		
	② 価格点 <満点10点>			
価格評価 (10点)	導入コスト	イニシャルコスト(初期費用、システム構築費用等)として過大な経費を発生させないか。	10	
	運用コスト	ランニングコスト(サービス利用料等)として過大な経費を発生させないか。		
合計点			100	